

解答

- 一 つかない
- 問二 ② エ ③ ウ
- 問三 「小学五年生の時」暗いという印象ばかりでさっぱり意味がわからず、とても名作とは思えなかった。
 「大学生になって」初めて映画の内容を理解して衝撃を受け、胸をかきむしられてポロポロ泣いた。
 「三十代半ばになって」見落としていた多くのシーンやセリフに気づき、登場人物への理解も深まり、映画を通して人間の悲しさを実感した。
- 問四 画一的で個性のない人間になるように育てられる。
- 問五 していることの意味がわからないまま稽古を続けていた〔と〕、〔と〕、〔と〕。
- 問六 嗅覚や触覚といった五感によって、「雨が降ることを察知する」ということ。
- 問七 a ウ b イ c オ
- 問八 ウ
- 問九 ガラスの覆いが取れて
- 問十 視野が広がる瞬間に向けて、少しずつ成長していた〔と〕いうこと。〔
- 問十一 イ
- 問十二 (1) ア
 (2) お茶は、続けることで「自分では見えない自分の成長」を実感させてくれ、世界が広がる瞬間の醍醐味を何度も味わえるものだから。

二

- 問一 (1) 季節 (2) 歳時記
- 問二 季語は、それ自体に感動がこめられた特別な言葉だということ。
- 問三 ウ
- 問四 啄木鳥
- 問五 問題として取り上げる価値も無い。
- 問六 季語は感嘆詞を内蔵する言葉なので、季語が二つ以上あると、句の感動の焦点が定まりにくくなるから。
- 問七 「切」っても「切」れない
- 問八 ア
- 問九 イ
- 問十 切字を使うことで形が整い、詠嘆や感動も広がるけれど、内容の浅いものになってしまうことも多いということ。
- 問十一 A ウ B ア
- 問十二 具合のよくない母が柿の実の赤さを見て目を輝かせた様子から、お転婆だったという子どものころの母を思い、うれしく思う気持ち。

問十三 オ

問十四 (1) 切字 (2) の

三

- 問一 1 意・異 2 音・根 3 非・火 4 富 5 編 6 育
- 7 放 8 反 9 射 10 退 11 巻 12 濟 13 好
- 問二 1 やしろ 2 くだ 3 いただき 4 すじ